リスクと機会

当社は事業活動において、今後重要な影響を及ぼすリスクを抽出し、その把握と管理に取り組み、危機に強い企業体質づくりを進めています。現時点で経営者が当社グループの財政状態や経営成績、及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要リスクは以下のとおりです。これらのリスクを認識したうえで、事態の発生の回避や、発生した場合の対応に努める必要性があると考えています。

各リスクについては、顕在化した場合の連結業績への影響度合いと、現時点で想定される発生可能性を、それぞれ大・中・小の3段階で相対的に評価しています。表中の「大／中」の表示は、左が財務への影響、右が発生可能性を示しており、評価はP48のシナリオ分析と同一の考え方に基づいています。

前回からの変更点

前回と比べて、2025年度は中東情勢の緊迫化などの地域紛争に起因する「地域紛争の増加、激化に関するリスク」を新たに事業などのリスク①とし、⑧にサプライチェーン及び物流に関するリスクを加えました。それ以外のリスクについて、内容を精査した結果、前回までと同じ事項を継続しています。

関連するリスクと機会		リスクと機会の内容	
1 地域紛争の増加、激化に関するリスク		リスク 中／中	ロシア・ウクライナや中東情勢の緊迫化などの地域紛争により、原油・エネルギー・原材料価格、物流費及び為替相場が変動するおそれがあります。資材の供給不足や価格上昇、顧客の設備投資延期などにより、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性もあります。
		機会	ここ数年はインフレ下にあり、お客様から原材料価格の上昇などに起因する価格改定に同意を得やすい状況であり、現時点では2027年3月期の連結業績予想に織り込んでおらず、引き続き動向を注視しています。
2 国内アスファルトプラント（AP）関連事業に関するリスク	競合相手との差別化が十分にできないリスク	リスク 大／小	国内アスファルトプラント市場は寡占市場であり、当社は高い市場シェアを有していますが、新製品開発やメンテナンス事業強化、遠隔化・自動化サポートなどによる差別化が十分に進まない場合、顧客に対する訴求力が弱まり競争優位性を維持できなくなる可能性があります。
		機会	当社としては、トップメーカーの地位を将来にわたって維持するために、カーボンニュートラルの実現・CO_2の削減に貢献できる新製品開発や、メンテナンス事業のビジネスモデル変革を進めるとともに、遠隔化・自動化サポートで差別化を図っています。
	海外メーカーの日本市場への参入リスク	リスク 中／小	中国・韓国メーカーなどの技術力向上により、将来的に海外メーカーが日本市場への参入を検討する可能性があります。海外メーカーが国内市場に参入した場合には、市場での競争が激化し、当社の受注や価格に影響を及ぼす可能性があります。
		機会	十分なメンテナンス体制を持たない海外メーカーの日本市場参入は容易ではありません。従って、仮に海外メーカー製品を購入したお客様が当社の充実したアフターサービス体制を認識すれば、当社への評価が高まることが期待できます。
	道路舗装業界再編による市場縮小のリスク	リスク 中／中	道路舗装業界の再編によりアスファルトプラント工場の集約化などが進んだ場合、国内のアスファルトプラント市場そのものが縮小する可能性があり、当社の販売台数や売上高に影響を及ぼす可能性があります。
		機会	集約化による1工場当たりの稼働率向上により、収益改善による設備投資と効率的な設備運用が期待されます。
3 環境負荷低減への取組に当社の技術革新が間に合わないことに関するリスク		リスク 大／中	アスファルトプラントは化石燃料をエネルギー源とし、当社は燃料効率向上や熱源転換、CO_2の回収・吸着技術などの開発に取り組んでいますが、環境負荷低減に向けた社会的要請が想定を上回る速さで進んだ場合、技術革新が間に合わず対応できなくなる可能性があります。
		機会	当社としては、お客様である道路舗装会社と緊密に連携しながら、アスファルトプラントの燃焼効率向上や熱源の転換（カーボンニュートラル燃料、エレクトロヒートなど）、合材の搬送方法の革新による輸送効率向上、アスファルトプラントで排出されたCO_2の回収、生コンへの吸着技術などの早期の社会実装を目指して取り組んでいます。

関連するリスクと機会		リスクと機会の内容	
4 海外事業に関するリスク	中国のアスファルトプラントハイエンド市場が競争激化するリスク	リスク 中/中	中国のアスファルトプラント市場において、当社はハイエンド機種のカテゴリーで一定のポジションを確保していますが、中国メーカーの技術力向上により、将来的にハイエンド市場においても競争が激化する可能性があります。
		機会	これまでのところ、ハイエンド市場の競合相手はヨーロッパ企業2社と中国の上位1～2社であり、激しい競争環境には至っていません。今後、中国においても環境規制、リサイクルの推進が強化されることが予想され、ハイエンド市場が拡大し、当社が日本で培ってきた技術でシェアを拡大することが期待されます。
	ASEAN市場で販売計画が未達となるリスク	リスク 中/中	当社はタイに製造拠点を設立し、ASEAN市場での販売拡大を進めていますが、タイ及びASEAN諸国の顧客の支持を十分に得られない場合や工場の生産性改善が進まない場合には、工場の減損リスクが生じる可能性があります。
		機会	ASEAN市場において、生産拠点を有する海外アスファルトプラントメーカーは日工のみであり、将来的に顧客の重要課題となるメンテナンス分野においても、高い期待に応える優位性を発揮できると見込まれます。
5 公共投資予算削減に関するリスク		リスク 大/小	将来、公共投資抑制策を掲げる政権に代わった場合、過去の政権交代時と同様に顧客が設備投資を抑制する動きが出る可能性があり、その場合、当社グループの売上高に影響を及ぼす可能性があります。
		機会	第1次国土強靱化実施中期計画（2026～2030年度）で事業規模おおむね20兆円強が示されたことで、お客様が投資を抑制する可能性は少なく、むしろ投資拡大が期待できます。
6 現場作業従事者の人材確保に関するリスク		リスク 中/大	当社の事業モデルはプラント製造から現場据付、メンテナンスまでを当社が担っています。メンテナンスや工事施工の現場作業従事者を必要数確保できない場合、事業モデルの競争優位性を維持できなくなる可能性があります。
		機会	メンテナンスサービスにおいては、IoTの活用などによるメンテナンス業務のシステム化を通じた省人化を進めることで、人材確保の課題を解決することが可能です。
7 材料などの価格上昇に関するリスク		リスク 大/中	物価上昇やインフレが継続する場合、購入する材料などの価格上昇により収益が悪化する可能性があります。また物価上昇が顧客に与える影響により設備投資計画の延期・見合わせが生じた場合、当社グループの売上高に影響を及ぼす可能性があります。
		機会	製品の多くが受注生産のため、案件ごとの見積対応により価格転嫁を実施しやすく、収益への影響の抑制を図っています。
8 サプライチェーン及び物流に関するリスク		リスク 中/中	当社グループは国内外から原材料、部品、製品などを調達しており、取引先の供給能力低下、国際物流の混乱、輸送費の上昇などにより必要な資材・部品などを適時に調達できない場合、製品の納期遅延、製造コストの上昇、販売機会の逸失などにより業績に影響を及ぼす可能性があります。
		機会	複数調達による供給の安定化、サプライヤーとの協創強化などレジリエントなサプライチェーン構築を図っています。
9 為替相場変動に関するリスク		リスク 小/中	当社の破砕機関連事業における主力商品はヨーロッパから輸入し販売しており、輸入にあたっては為替予約などによりヘッジを行っていますが、ヘッジが十分でない場合には為替相場変動の影響を受ける可能性があり、円安が進む場合には当社販売商品の価格競争力が低下する可能性があります。
		機会	輸入する場合は、事前の外貨購入や為替予約をすることにより為替変動リスクをヘッジしており、影響は軽微にとどまると見込んでいます。

各リスクの「大／中」の表示は、左が財務への影響、右が発生可能性を示しています（大・中・小の3段階。評価の考え方はP21をご参照ください）。